

科目ナンバー： BC5054

授業コード： 2230500500

講義科目名称： 災害看護活動論

英文科目名称： Disaster Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員			
◎野口裕子、江部克也、黒崎 祐也、上田恵、杉山潤、青山拓夢、佐藤絵美			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎野口 裕子 cn. ac. jp 江部 克也 黒崎 祐也 上田 恵 cn. ac. jp 杉山 潤 cn. ac. jp 青山 拓夢 cn. ac. jp 佐藤 絵美 cn. ac. jp	【所属】 新潟県立看護大学 新潟医療福祉大学 長岡赤十字病院 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 209 302 共同研究室3 共同研究室4 共同研究室2	【メールアドレス】 yuko@niigata- ueda@niigata- junsugi@niigata- taaoyama@niigata- emisato@niigata-
	実務経験のある教員が担当します。			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】	【DP2】	【DP3】	【DP4】
	◎	○	○	○

到達目標	1. 災害分類、防災・減災対策に関する法的根拠について説明できる。 2. 近年の国内の広域自然災害、新潟県の防災対策について説明できる。 3. 災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を理解し、災害サイクルに合わせた看護実践を身につける。
授業概要	過去の大規模災害における活動の経験値を基盤に、災害が地域の人々の健康と生活に与える影響を理解し、災害発生時に看護職として適切に行動できるよう災害サイクルに合わせた知識と技術を学ぶ。
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義、グループワーク 対面授業、遠隔授業 学修課題：オリエンテーション 学修課題の表示 学修内容：・近年の日本の広域災害 事前学修：近年国内で発生した自然災害についてテキストを参考に調べる。 事後学修：講義内容を振り返り、災害発生前から知っておくべきこと、災害発生後に予測されることを確認する。 備考：野口 2 授業内容 授業形態：講義、グループワーク 対面授業、遠隔授業 学修課題：オリエンテーション 学習課題の表示 災害に関する基礎知識 近年の日本の広域災害 災害対策の考え方 都道府県レベルの危機管理 学修内容：・災害の定義・分類、地震に関する基礎知識 ・広域自然災害と人為災害、救助活動の実際（自衛隊・警察・消防の活動） ・防災・減災対策の考え方と法的根拠 ・国や新潟県の防災計画と危機管理体制 ・原子力防災活動の実際 事前学修：災害フェーズ、災害対策基本法についてテキストを参考に調べる。

3 4 5 6 7 8	事後学修：講義内容を振り返り、災害発生前から知っておくべきこと、災害発生後に予測されることを確認する。 備考：ゲスト、野口 授業内容 授業形態：講義 対面授業 学修課題：災害医療の基礎知識 災害の種類による健康障害 災害サイクルから考える災害医療と看護 被災者支援とこころのケア 学修内容： ・災害医療と救急医療の違い ・災害拠点病院と医療救護チーム ・災害医療活動の7つの要素 ・被災病院の初動体制、広域医療搬送の実際 ・原子力災害医療（概論、被爆防護） ・災害時の健康ニーズ、主な外傷、災害関連死 ・災害発生時における被災病院の患者対応 ・避難所・救護所の立ち上げと傷病者への対応 備考：江部 授業内容 授業形態：講義 対面授業 学修課題：災害医療の基礎知識 災害の種類による健康障害 災害サイクルから考える災害医療と看護 被災者支援とこころのケア 学修内容： ・災害とこころのケア（被災者・遺族・支援者） ・他職種連携 ・災害サイクル各期の活動現場の特性と看護活動 ・静穏時の防災対策・教育 事前学修：学修課題であげられている用語についてテキストを参考に調べる。 事後学修：講義内容を振り返り、災害発生時に備えて日頃からどのようなことを情報収集しておく必要があるか考える。 備考：黒崎 授業内容 授業形態：演習 対面授業 学修課題：急性期の看護活動 学修内容： ・災害時トリアージの実際 備考：江部、黒崎、野口、東條、金井、杉山 事前学修：学修課題であげられている用語についてテキストを参考に調べる。 事後学修：講義の中で体験したトリアージ演習を振り返る。 授業内容 授業形態：講義-演習 学修課題：災害時の健康課題、要配慮者（妊産褥婦、乳幼児、障がい者、高齢者等）への看護支援（平常時からの備え、避難所で配慮すること）について理解する 学修内容： ・要配慮者（妊産褥婦、乳幼児、障がい者、高齢者等）への看護支援（平常時からの備え、避難所で配慮すること）について学修する 事前学修：災害時の健康課題、要配慮者（妊産褥婦、乳幼児、障がい者、高齢者等）への看護支援について、テキストを参考に調べる 事後学修：担当する要配慮者への看護支援についてパワーポイント資料を作成する 備考：野口、上田 授業内容 授業形態：演習 対面授業 学修課題：災害時の健康課題、要配慮者（妊産褥婦、乳幼児、障がい者、高齢者等）への看護支援（平常時からの備え、避難所で配慮すること）について理解する 学修内容： ・災害時の健康課題と対処について学生間で議論ができる ・要配慮者（妊産褥婦、乳幼児、障がい者、高齢者等）への看護支援（平常時からの備え、避難所で配慮すること）について学生間で議論ができる 事前学修：災害時の健康課題、要配慮者（妊産褥婦、乳幼児、障がい者、高齢者等）への看護支援について、テキストを参考に調べて、パワーポイント資料を作成する 事後学修：作成したパワーポイント資料を用いて学生へのプレゼンテーションと議論をとおして、各自今後の課題を見出す 備考：野口、上田 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：被災病棟における看護活動が理解できる 学修内容：被災病棟における看護活動に関するDVD視聴を行い、被災病棟看護師の役割を理解する 事前学修：被災直後に病棟で起こり得ることについて、テキストを用いて各自調べる 事後学修：DVD視聴後に、被災直後に病棟で起こりうることと対処方法について自分の考えを述べる 備考：野口
評価方法、評価基準	筆記試験20%（到達目標1の達成度を評価する） 災害時の健康課題、要配慮者への看護支援に関する課題レポート30%、グループワークや演習への参加度25%、課題発表・討論25%（到達目標2と3の達成度を評価する）
必携図書	災害看護 看護の専門知識を統合して実践につなげる 改訂第4版（南江堂、2023）。 資料は随時配布する。
参考図書・資料等	災害看護 心得ておきたい基本的な知識 改訂3版（南山堂、2019）
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は担当教員に事前に連絡すること。 資料は授業開始時に配布する。配布資料は毎回持参すること。

教員からのメッセージ	外部講師を招き、実際の活動を教授していただきます。最先端の活動を理解し、看護職の役割を考察しましょう。
オフィスアワー	随時（メールで調整）